

AstraZeneca PLC

2002年第2四半期および上半期の業績

新製品の貢献で上半期業績は好調、EPSは18%アップ」

フィナンシャルハイライト (例外的損益項目控除前)

グループ (継続事業*)	第2四半期	第2四半期	恒常為替	1-6月期	1-6月期	恒常為替
	2002	2001*	%	2002	2001*	%
	\$m	\$m		\$m	\$m	
売上高	4,382	4,099	+8	8,803	8,090	+10
営業利益	1,064	996	+10	2,361	2,051	+17
税引前利益	1,065	1,019	+8	2,383	2,129	+14
1株当たり利益						
グループ	\$0.45	\$0.41	+13	\$1.00	\$0.86	+18
グループ (法定会計 Statutory FRS3)	\$0.45	\$0.39		\$1.00	\$0.83	

* 新報告基準FRS19に従って再計算。伸び率は恒常為替率 (CER)。

- Nexium™ の上半期の売上は8億3,000万ドルを達成。過去12ヶ月間では13億ドルを達成。
- Symbicort™ の上半期の売上は1億2,200万ドルを達成。Symbicort™の小児(年齢6~11歳)喘息の維持治療としての使用に関するEUの相互認証手続きは7月5日に無事完了。
- Iressa™ は非小細胞肺がんの治療薬として日本で最初に承認を取得。
- Crestor™ は4月23日に日本で承認申請。5月16日には、アストラゼネカと塩野義製薬が日本で共同販売することを発表。Approval letter受領後のFDAとの会議がまもなく開始される予定。
- Faslodex™ は4月25日に米国で承認取得後、進行乳がん治療の新しい選択肢として発売。
- Exanta™ は7月24日に整形外科手術後の血栓予防薬としてヨーロッパで最初に承認申請。

トム・マキロップCEは、「次々と各国で上市されたNexium™、Symbicort™の売上が力強く伸長するとともにSeroquel™、Atacand™および一連の抗がん剤の売上が継続的に成長したことにより、上半期の業績は良好でした。通年の財務目標を予定通り達成できる見通しです。ここ数週間に当社のポートフォリオ転換にとって2つの重要なマイルストーンに到達しました。それはIressa™が日本で最初に承認されたこととExanta™がヨーロッパで最初に申請されたことです。」と述べました。

London, 25 July 2002

Media Enquiries:	Steve Brown/Emily Denney (London)	(020) 7304 5033/5034
	Staffan Ternby (Södertälje)	(8) 553 26107
	Rachel Bloom (Wilmington)	(302) 886 7858
Analyst/Investor Enquiries:	Mina Blair-Robinson (London)	(020) 7304 5084
	Staffan Ternby (Södertälje)	(8) 553 26107
	Ed Seage (Wilmington)	(302) 886 4065
	Jörgen Winroth (Wayne)	(609) 896 4148

ビジネスハイライト 伸び率は恒常為替レー HCER)

上半期の売上高は10%増、営業利益は17%増でした。対米ドル為替変動の影響で、売上高で1%、営業利益で2%のマイナス影響を受けました。1株当たり利益(例外的損益項目控除前)は18%増の1.00ドルでした。取締役会は0.23ドル(14.7ペンス、2.21スウェーデンクローネ)の第1回中間配当金を10月7日に支払うことを推奨しました。

第2四半期の売上高は8%増、営業利益は10%増でした。為替変動により売上高で1%、営業利益で3%のマイナス影響を受けました。1株当たり利益(例外的損益項目控除前)は13%増の\$0.45でした。

上半期の売上増には米国での11%増、引き続き好調な日本での17%増が寄与しています。第2四半期における売上増(8%)は循環器領域の製品、またNolvadex™、Casodex™、Zomig™の米国の市場での予想された在庫減少効果が反映されています。

GI(消化器)フランチャイズの売上高は上半期に8%増加しました。Losec™/Prilosec™の売上減以上に引き続き好調なNexium™によるものです。米国での上半期のNexium™の売上は6億5,300万ドルに達し、拡大する米国PPI市場でのシェアも着実に伸ばしています。米国でのPPI製品の新たな処方枚数で、Nexium™の占める割合は7月12日の週で20.2%でした。最近販売を開始した好業績のフランス、イタリアを含む米国以外のNexium™の売上は上半期で1億7,700万ドルに達しました。Losec™/Prilosec™の上半期の売上は17%減、主に米国での24%の売上減の影響です。今日現在、米国市場でオメプラゾールの後発品は発売されておりません。

後発品メーカー4社に対するPrilosec™の特許侵害訴訟の審議は米国のニューヨーク地方裁判所で終了し、判決待ちの状況です。

Gフランチャイズ以外の上半期の売上高は12%増加しました。CNS(54%増)、呼吸器(14%増)、オンコロジー(14%増)それぞれの製品群で力強い成長を遂げています。

7月5日Iressa™の日本が最初の承認国となり、オンコロジーポートフォリオにとっての大きなマイルストーンが達成されました。Iressa™は上皮成長因子受容体チロシンキナーゼ阻害剤(EGFR)として知られる新しいクラスの抗がん剤として最初に承認された製品です。日本では手術不能又は再発非小細胞肺癌の効能、効果で承認されました。アストラゼネカは第3四半期末までの薬価収載を予想しています。米国では来月承認申請手続きを終了し、下半期中に販売を開始する予定です。

Crestor™の臨床データが世界心臓病学会(6月)、欧州動脈硬化学会(7月)で最近発表され、製品プロファイルの強さが確認されました。米国ではFDAよりapprovable letterを受領したと6月5日に発表しました。それに引き続いてFDAとの会議もまもなく始まる予定で、その話し合いが終われば、米国での販売時期が示唆されるでしょう。他の市場については、ヨーロッパでは下半期には相互認証方式加盟国において承認を取得する予定です。4月23日には、日本においてCrestor™の承認申請を行い、続いて5月にはこの主要マーケットにおいてCrestor™をアストラゼネカと塩野義製薬が共同販売することを発表しました。

Exanta™の開発が進む中、7月24日にアストラゼネカは重要で新しい血栓予防薬として、はじめての承認申請を行いました。この最初の承認申請において、ヨーロッパ股関節、膝関節置換術における静脈血栓塞栓予防を適応としています。米国での同じ適応および心房細動患者の脳梗塞予防を適応とする申請も予定通り2003年に行う予定です。

開発ポートフォリオの最新版は本日更新され、アストラゼネカのウェブサイト(WWW.astrazeneca.com)にて、掲載しています。

今後の見通し 伸び率は恒常為替レー HCER)

第1四半期業績発表時は、利益の市場予測幅は1株あたり1.51ドルと1.66ドルの間でした。現時点で、今年度の業績を左右する要因は特に製品の承認時期、販売開始時期、Prilosec™やその他特許切れ製品の後発品の参入時期です。現在の所、これに変更はありません。

注意: 当社の利益やビジネスの見通しへの期待に関する上記の予測的な記述はリスクや不確定要素をとまなっており、実際の結果はこれらと大きく異なる可能性があります。たとえば、米国におけるオメプラゾールの後発品の発売時期、新製品の承認取得ならびに上市の成否(とくに、Nexium®とCrestor™)、既存製品の継続的成長、コストや経費の増加、グループの現金収支に対する実質的な利息収入の額、為替レートの変動、税率の更なる改善、というようなリスクや不確定要素です。これらやその他のリスクや不確定要素については、2001年アニュアルレポートForm20-Fを含む証券取委員会への有価証券報告書をご覧ください。

売上高

伸び率は恒常為替レート(CER).

消化器

	第2四半期		CER %	1-6月期		CER %
	2002	2001		2002	2001	
Losec™/Prilosec™ (オメプラール)	1,137	1,371	-17	2,355	2,866	-17
Nexium™	474	46	n/m	830	127	n/m
Total	1,628	1,426	+14	3,215	3,014	+8

- Nexium™ の売上は引き続き好調でした。米国での上半期の売上は6億5,300万ドルに達しました。米国のPPI市場における新規処方Nexium™のシェアは、6月に19.4%まで増加しました。
- 米国以外でのNexium™の上半期の売上は、1億7,700万ドルに達し、フランスおよびイタリアでの上市も含め既に上市した市場において、堅調な伸びを示しました。
- 米国でのPrilosec™ の売上は処方とほぼ同様の推移を示し、第2四半期で22%減、上半期では24%減でした。アストラゼネカPPIフランチャイズの処方総数は、昨年を大幅に上回っています(6月まで15%増)。
- 米国以外でのLosec™ の売上は、第2四半期で7%減、上半期で4%減でしたが、日本とオーストラリアでの伸びは堅調でした。
- 後発品企業4社に対するPrilosec™の特許侵害に関する訴訟手続きは、ニューヨークの米国司法裁判所で終了し、判決待ちの状況です。

循環器

	第2四半期		CER %	1-6月期		CER %
	2002	2001		2002	2001	
Zestril™ (ゼストリル)	276	350	-20	559	644	-12
Atacand™	130	113	+16	281	196	+45
Seloken™ (セロケン)/ Toprol-XL™	210	199	+6	446	350	+28
Plendil™ (スプレンジール)	98	106	-7	206	212	-2
Total	902	1,000	-9	1,863	1,835	+3

- Atacand™ およびAtacand™ Plus/Atacand™ HCT の需要は、主要な市場で引き続き伸びています。米国以外での売上は、第2四半期で36%増、上半期で40%増でした。米国での売上は、上半期では54%増でしたが、第2四半期では卸売業者の在庫パターンの影響を受け減少しました(10%減)。Atacand™製品の米国における処方の伸びは、6月までで34%でした。
- 米国におけるToprol-XL™の処方の伸びが、Seloken™/Toprol-XL™の業績に貢献しました。Toprol-XL™の上半期の総処方量は39%増でした。米国での上半期の売上は46%増でした。第2四半期の売上は11%増でしたが、これは年間価格の変動による卸売業者の購入パターンを反映しています。
- Zestril™ の売上は、米国における第2四半期の27%の売上減によりマイナス影響を受けました。これは、在庫の積み増しがあった昨年の第2四半期との不利な比較を反映しています。リシノプリルの特許が6月に切れたあと、およそ12の後発品が米国で承認され、今年後半の売上が大幅に減少するものと予測されます。

呼吸器

	第2四半期		CER %	1-6月期		CER %
	2002	2001		2002	2001	
Pulmicort™ (パルミコート)	201	209	-4	430	409	+6
Accolate™ (アコレート)	34	46	-26	67	95	-28
Rhinocort™	82	74	+12	146	130	+13
Oxis™	30	33	-6	61	65	-4
Symbicort™	68	11	n/m	122	14	n/m
Total	452	413	+10	898	794	+14

- 喘息市場におけるSymbicort™の売上の伸びは、欧州各国の配合剤セグメントで引き続き浸透したことによってけん引されました。欧州の16市場でのマーケットシェアは、およそ20%です。Symbicort™について小児喘息の維持療法を適応とするEUの相互認証手続きを7月5日に無事完了しました。
- Pulmicort™ Respules™ の売上は米国では上半期に、着実に前進しています(96%増)。これによりブランド全体の伸びは(Pulmicort™ Turbuhaler™を含む)、この市場で37%でした。米国以外では、Pulmicort™の売上は、上半期で11%減でした。
- 米国でのRhinocort™ Aquaの処方6月までで41%増で、グローバルでのRhinocort™の売上をけん引しました。鼻炎市場の水溶性点鼻ステロイド剤セグメントの新規処方のマーケットシェアは現在、昨年より2ポイント増加し、6月に14.1%に達しました。

オンコロジー

	第2四半期		CER %	1-6月期		CER %
	2002	2001		2002	2001	
Casodex™ (カソデックス)	150	129	+19	274	244	+16
Arimidex™ (アリミデックス)	80	49	+65	146	92	+61
Nolvadex™ (ノルパデックス)	119	147	-18	262	286	-6
Zoladex™ (ゾラデックス)	197	184	+10	387	344	+16
Faslodex™	8	-	n/m	8	-	n/m
Total	560	517	+10	1,088	981	+14

- 早期乳がんの術後療法におけるArimidex™の有効性を論証する画期的なATAC試験の結果が、ランセット6月23日号で発表されました。Arimidex™は日本で3月に術後使用が認められ、現在すべての主要市場で申請が行われています。
- 米国でのArimidex™の上半期の売上は97%増で、米国以外では41%でした。Arimidex™はアロマトターゼ阻害剤セグメントで、引き続きグローバルマーケットリーダーです。
- 米国以外のCasodex™の売上は、第2四半期および上半期で48%増でした。日本での堅調な伸びと進行前立腺がんおよび新適応である早期前立腺がんの単剤療法で150mgの使用が増加したことが、この業績の重要な要因です。早期前立腺がんの適応は現在、20カ国で承認されています。この申請に関して、米国FDAよりnon-approvable レターが出されたため、当社は最善の方向を見出すためにFDAとそのオプションを検討しています。
- 米国におけるCasodex™の処方に対する需要は、6月までで約7%増です。卸在庫の増加が上半期の売上にマイナス影響を与えました(33%減)が、取引在庫は第2四半期末までには、通常のレベルに戻ったようです。
- Faslodex™は米国で5月に上市され、第2四半期に800万ドルの売上を記録しました。Faslodex™は、抗エストロゲン療法(例えばタモキシフェン)後、癌が進行した進行乳がん患者にとって重要な新しい治療オプションを提供します。

中枢神経

	第2四半期		CER %	1-6月期		CER %
	2002	2001		2002	2001	
Seroquel™ (セルクウエル)	268	168	+61	604	357	+70
Zomig™ (ゾーミグ)	75	88	-14	168	154	+10
Total	351	257	+38	787	514	+54

- 米国でのSeroquel™ の上半期の売上は68%増で、米国以外では、78%増でした。日本でのマーケットシェアは、上市後わずか1年で20%に届くところまで拡大しました。米国での処方量は6月までで、48%増、新規処方のシェアは、17.6%まで伸びています。第2四半期は非常に好調な売上が報告されました。米国では55%増、米国以外では83%増でした。
- 米国以外でのZomig™ の売上は、第2四半期で36%増、上半期では34%増でした。これは、引き続きZomig™ Rapimelt™ の売上が伸びたこと、また昨年の夏に上市されて以来日本での業績が堅調であることにけん引されました。2月には、スウェーデンでZomig™ 経鼻スプレーを最初に上市しました。15分以内で作用するZomig™ 経鼻スプレーは、Zomig™ 製品群に加わる重要な製品となるでしょう。本製品は、今月初旬に発表されたとおりEU相互認証方式により承認されたので、第4四半期以降EU加入10カ国で入手可能となります。
- 米国でのZomig™ の処方量は、引き続き二桁代で伸びています。Zomig™ ZMT 剤型が最近導入されたことによりほぼ90%の伸びを示しています。今年の第2四半期の卸売業者の在庫減らしは、昨年の在庫積み増しに対応するもので、今年第2四半期の売上が37%減少しました。

疼痛、感染症、ほか

	第2四半期		CER %	1-6月期		CER %
	2002	2001		2002	2001	
Merrem™	75	57	+32	142	106	+35
Diprivan™ (ディプリバン)	113	108	+6	226	215	+7
局所麻酔薬	60	92	-34	156	196	-17
その他医療用医薬品	118	121	-3	189	225	-15
Total	366	378	-3	713	742	-2

- 米国での市場の伸びと安定したシェアにより、Diprivan™ の上半期の売上は、小幅ながら引き続き伸びました。
- Merrem™ の上半期の売上増は、主要市場すべてにわたって売上が伸びたことによります。上半期の売上は、米国で50%増、米国以外では31%でした。

地域別売上

	第2四半期		CER %	1-6月期		CER %
	2002	2001		2002	2001	
米国	2,271	2,120	+7	4,719	4,259	+11
欧州	1,410	1,358	+5	2,805	2,649	+8
日本	240	211	+23	412	389	+17
その他	461	410	+13	867	793	+12

- 米国での上半期の売上の伸びは11%で、Nexium™, Seroquel™, and Toprol-XL™ の好業績により加速しました。
- 欧州での上半期の売上の伸びは8%で、オンコロジー製品が好調だったことに加え、主にNexium™およびSymbicort™に

支えられました。フランス、イタリア、スペインは、引き続き主要市場のうち最も成長の早い市場です。

- Losec™およびSeroquel™の堅調な伸びに加え、オンコロジー製品の好業績により、日本の上半期の売上は、17%増でした。

営業レビュー

例外的損益項目控除前**営業利益**は、第2四半期では10%増の10億6,400万ドルで、上半期では、17%増の23億6,100万ドルでした。第2四半期の報告結果は、第1四半期に見られた2億ドルの卸在庫の積み増しが大幅に減少したことにより、成長は鈍化しました。対前年比についても、2001年第2四半期における在庫積み増しの影響で伸びが鈍化しました。

為替により第2四半期に若干のマイナスの影響がみられ、上半期では、約3,000万ドルでした。第2四半期の終わりには、ドルは主要通貨すべてに対し下がり、スポットレートが今年後半に一定している場合、第3および第4四半期の売上は、ユーロ高によりプラスの影響が考えられます。しかし、これは、英ポンドとスウェーデンクローネによるコストベースでは、コスト高により相殺されることとなります。これは、2001年と比較して2002年の利益にほぼ影響がないことを意味します。

第2四半期の**営業利益率**は、24.3%で、2001年の第2四半期と同レベルでした。第2四半期の営業利益率は、2001年と比較して1.4ポイント改善され、26.8%でした。

半年間の売上原価率は、2002年は2001年と比較して0.9ポイント低下し、26.1%でした。これは、主にメルク社への支払い額が減額されたためです。研究開発費の対売上比率は16.1%で、昨年を0.5ポイント下回りました。為替による若干の良好な影響があったため、ドルベースでは、6%の伸び率にとどまりました。第2四半期の営業活動レベルは、増加することが予測されます。これは、英ポンドおよびスウェーデンクローネ高とあいまって、R&Dの対売上比率を増加させるでしょう。販売ならびに一般管理費は、2001年と比較して0.3ポイント低下し、32.6%でした。販売経費の伸びは、新製品上市プログラムのためです。第2四半期のその他の営業収益は5,500万ドルで、主にロイヤルティーによるものですが、その主なものは現在、その権利が失効しました。上半期のその他営業収益には、米国でのSular™の売却益が含まれています。将来予測のセクションに含まれている2002年財務成績のガイダンスは、承認のタイミングや後発品の市場への参入などの主な変動要因の予測に基づいています。このガイダンスは、上半期が好業績のため、下半期の利益は減少することを意味しています。

利息

第2四半期の受取利息は100万ドルで、高インフレ国で事業を展開しているグループ会社の金融資産(純額)で生じた、為替差損で低下しました。2002年6月30日付の正味キャッシュファンドは34億ドルで、現在約2%の利息を出しています。

税金

例外的損益項目を除き、2001年同期の再計算された28.4%に対し、2002年第2四半期および上半期の実効税率は27%でした。2001年の税率は新報告基準FRS19に従って再計算されました。詳細は、13ページを参照してください。

キャッシュフロー

上半期の営業活動によるキャッシュフローは運転資本減少による3億ドルを含む31億ドルでした。設備投資額6億ドル、納税額4億ドル、配当金8億ドル、株の買い戻し費用7億ドルを差し引いた後の正味キャッシュファンドの純増額は6億ドルでした。

配当

第一回中間配当は、0.23ドル(14.7ペンス、2.21スウェーデンクローネ)で、2002年8月23日時点で登録されているすべての株主に、2002年10月7日に支払われます。

株の買い戻しプログラム

第2四半期に総額6億800万ドルで普通株式1,320万株(額面0.25ドル)が買い戻され消却されました。これにより通年では総数1,600万株、総計7億4,800万になります。

本プログラムがスタートしてから買い戻し消却された株の総数は現在、5,320万株となり、買い入れ金額は、23億6,200万ドルになりました。発行株式数は(2002年6月30日現在)17億3,000万です。

2001年の年次報告で発表された株の買い戻しプログラムの拡大により、16億3,800万ドルが残っており、2003年末までには終了する見込みです。

今後のマイルストーンおよび主なイベント

10月24日	第3四半期および9カ月業績発表
11月7日	ビジネスレビュー
第4四半期	Iressa™非小細胞肺癌併用療法申請

トム・マキロップ
チーフ エグゼクティブ